

呼吸器リハについて

呼吸に関わる身体部位に障害が起こるとガス交換の機能が低下してしまい、少しの運動でも息切れなどの症状があらわれ動けなくなってしまう。そのような方にリハビリテーションをすることで日常生活がスムーズに動けるように効果が発揮されます。

適応

肺気腫、慢性気管支炎のような慢性閉塞性肺疾患、肺炎、神経や筋肉の病気による呼吸機能の低下、人工呼吸器をつけた状態、手術後で痰を出しにくい状態など

訓練内容

心臓リハビリテーションのような自転車エルゴメーターの他に呼吸筋の筋力増強訓練、リラクセーション、腹式呼吸訓練などが行われます。